

報道関係各位

2022年12月15日
ビジネスエンジニアリング株式会社

JR東日本クロスステーションが「mcframe 7」を導入

商品単位の正確な損益をタイムリーに可視化、経営の高度化に向け基幹システムを刷新

ビジネスエンジニアリング株式会社（東京都千代田区、取締役社長：羽田 雅一、以下「B-EN-G」）は、エキナカの飲食店舗の運営や駅弁を始めとする食品製造事業などを手掛ける株式会社JR東日本クロスステーション フーズカンパニー（東京都台東区、フーズカンパニー長：日野 正夫、以下「フーズカンパニー」）が、株式会社テクノスジャパン（本社：東京都新宿区）の支援を受け、B-EN-Gの製造業向けSCM総合パッケージ「mcframe 7」を導入し、基幹システムを刷新したことを発表します。

■ URL

<https://www.mcframe.com/case/jr-cross>

■ 基幹システム刷新の背景

フーズカンパニーは、事業強化を目的に4社のグループ会社が統合して誕生しました。財務改革を経営課題の一つとしているほか、主な現場での課題は以下のとおりです。

- ・ 細かい粒度での原価管理ができず、商品ごとの収益性や採算性が把握しづらい
- ・ 現場の担当者が負荷なく生産実績を登録できる環境構築を実現したい
- ・ 基幹システムは老朽化が進みメンテナンスが困難であるほか、システムのサイロ化も進行

基幹システムの運用が限界に近づいた背景も踏まえ、同社では、原価管理システムの導入と生産管理システムの更改を決定しました。

■ mcframe 7を採用した理由

- ・ 1日あたり20万件にも及ぶ膨大な注文と出荷のサイクルに合わせ、1日3回の所要量計算（MRP）への対応が可能
- ・ 商品ごとの原価や損益の可視化が可能
- ・ 食品業界への豊富な導入実績

■ 導入効果

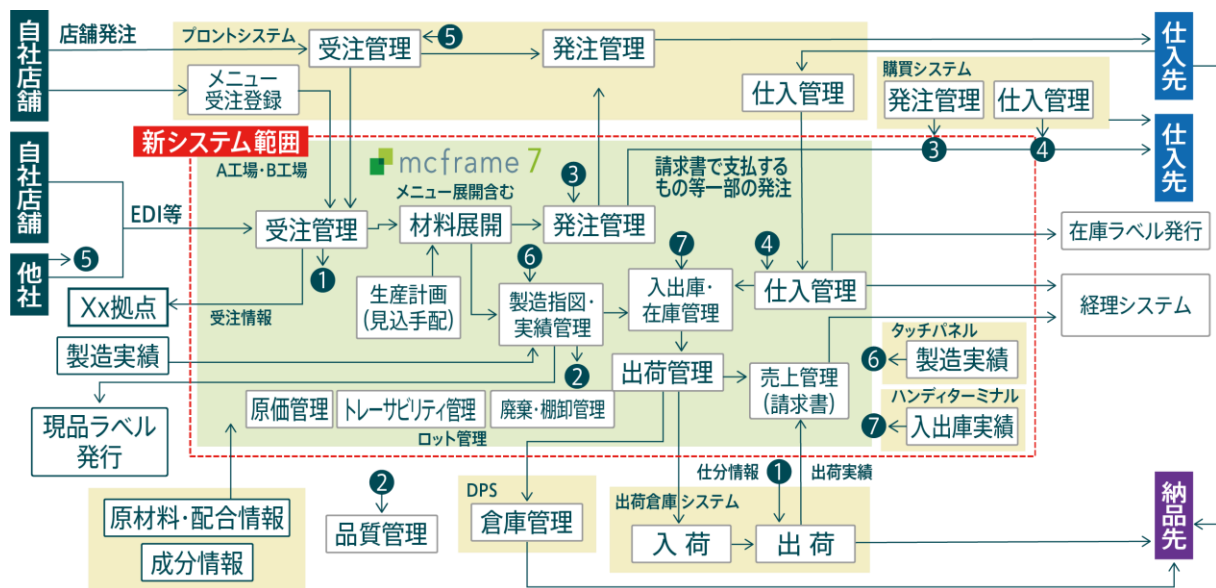
- ・ 商品別の収益性・採算性を可視化するとともに、原価計算を日次で実行することが可能になった
- ・ 生産管理システムの導入に合わせて、実績入力をタブレットで効率化し、データを生かした現場の業務改善も促進できた
- ・ サブシステムで担っていた機能をパッケージ製品に統合し、保守性が向上、加えて業務プロセスも標準化できた

■お客様のコメント

これまでは、ある商品が黒字なのか、赤字なのか、またどれほど利益が出ているのかは漠然としかわかりませんでした。mcframe導入により明確に捉えられるようになりました。また、発売から終売までのライフサイクルが短い商品が多い当社では、月に1回の原価計算ではビジネスのスピード感に追従できません。しかしmcframeによって日次でデータを確認できるようになったことで、商品改廃にかかわる判断が素早くできるようになりました。

さらにタブレットによる実績入力によって、データを確認しやすくなりました。蓄積されたデータを踏まえて目標値を設定して業務に取り組むことで、従業員のスキルアップにつながっていると感じています。また、材料の超過投入が発生していることもすぐに分かるようになったので、その削減に向けて優先順位を決めながら改善に取り組んでいます。

■mcframe 7を中心にしたシステム概要図



■mcframeについて

1996年のリリース以来、26年の歳月を重ねてきたmcframeは、一工場内のモノとカネを情報で「つなぐ」ことから始まり、サプライチェーン全体へと対象を広げていく中で、一貫して「つなぐ」をコンセプトとして進化してきました。この「つなぐ」には、生産活動をサポートする各システム間をつなぐ、事業活動の拠点間をつなぐ、過去のファクトを未来の改善や計画へとつなぐ、人の状態や知恵などをデジタル世界へとつなぐなど、事業環境やニーズに合わせて変化する様々な課題が含まれており、B-EN-Gはその課題解決に取り組んでいます。

mcframeの詳細は <https://www.mcframe.com/about> をご覧ください。

■ビジネスエンジニアリング株式会社(B-EN-G)について

ビジネスエンジニアリングは、IT企画、BPR実施のビジネスコンサルティング、IT導入コンサルティングからシステム構築サービス、運用サービスにわたり、ERPを中心に豊富な実績を有するビジネスエンジニアリング企業です。またERPをベースとしたSCM導入やデジタル変革支援ならびにタイや中国をはじめとしたグローバル展開支援での実績を積み重ねています。同社は、中国・上海、タイ・バンコク、シンガポール、インドネシア・ジャカルタ、アメリカ・シカゴの5ヶ所に海外現地法人を有しています。

ビジネスエンジニアリングの詳細は <https://www.b-en-g.co.jp/> をご覧ください。

【当報道に関してのお問い合わせ窓口】

ビジネスエンジニアリング株式会社 経営統括本部 広報グループ
電話：03-3510-1619 / E-mail : kouhou@b-en-g.co.jp

【当サービスに関してのお問い合わせ窓口】

ビジネスエンジニアリング株式会社 プロダクト事業本部 営業本部
電話：03-3510-1616 / E-mail : mcframe@b-en-g.co.jp

* 本ニュースリリースに記載されている社名、製品名などは、各社の登録商標または商標です。